

○産業振興

生産基盤の整備

・県営かんがい排水事業（新川地区・両総茂原南地区負担金） 2,538万円

農業の集団化と担い手の育成

・青年就農者確保・育成給付金事業 4,500万円

新たな企業・産業の導入

・企業立地促進事業（うち茂原にはる工業団地負担金） 3,217万円

経営の近代化促進

・中小企業資金融資事業 5億6,838万円

観光資源の整備

・茂原七夕まつり事業 988万円

・マスコットキャラクター（モバリん）PR事業 255万円

・軽自動車税賦課事務費（うち原動機付自転車等標識「モバリん」ナンバー代） 42万円

○市民自治

広報活動の充実

・広報発行事業 1,700万円

コミュニティ活動の促進

・コミュニティ育成事業（自治会関連） 1,495万円

行財政改革の推進

・会計事務運営費（うち振込データ伝送事業） 30万円

・減債基金費 1,204万円

※下線は新規事業。1万円単位で端数処理しています。

していただけるよう、引き続き検査を行います。

◆**企業誘致**
本市の産業経済の振興、就業機会の拡大および市民生活の向上を図るとともに財源の確保へと繋げるため、重要施策として引き続き推進します。

沢井製菓株式会社については、一昨年9月の新工場建設着手以来、本年3月の操業開始を目指し順調に工事が進められており、地域経済の発展とともに、雇用の拡大も図れるものと期待しています。

◆**観光事業**
本市の最大イベントである「茂原七夕まつり」も今年で59回を迎え、市民から愛され

伊ズ工場において、スマートフォン向けのパネルの生産が行われています。

「茂原にはる工業団地」については、昨年3月の事業化決定を受け、本市においては、「農村地域工業等導入実施計画」の見直し作業を行っています。

平成25年度は県による地質調査と基本設計が予定されていますので、本市としても早期完成に向け引き続き県と連携を図り、事業の推進に取り組んでまいります。

るだけでなく、県内外から毎年多くのお客様で賑わう、関東屈指のお祭りとして定着しています。

近年、七夕飾りが減少していることから、本年は新たに市民サークル等にご協力を頂くなど、創意工夫を凝らした市民参加型の七夕まつりとして取り組んでまいります。

また、圏央道開通による更なる観光振興を図るため、近隣の市町村と連携し、それぞれの観光資源を活かしながら、広域的な観光施策を推進するとともに、昨年11月より本市のマスコットキャラクターとなった「モバリん」を各種イベント等において活用し、本市のPRを図ります。



▲茂原市マスコットキャラクターモバリん

さらに、原動機付自転車用の「モバリん」ナンバーを交付します。



▲市民協働で開催された男女共同参画懇談会

平成25年度も、市民協働による意識啓発事業を引き続き推進するとともに、「男女共同参画社会づくり推進協議会」による計画の外部評価も

世代、働き盛り、第2の人生世代の各男女パネラーによる男女共同参画懇談会では「家庭そして地域での共同参画」というテーマについて、家庭や地域での身近な体験談などが、等身大の発言や意見交換がなされ、ご参加いただいた皆様からは大変好評をいただきました。

◆男女共同参画社会づくり推進事業



取り入れながら、市民・行政・企業・団体等が一体となり、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでまいります。

◆**行財政改革**
行革大綱第5次実施計画のうち、行政改革計画については、平成23年度中に目標達成した6項目に加え、平成24年度は『会議の公開』、『債権管理の適正化』などの5項目が達成の見込みとなっております、概ね順調に進ちよくしているものと考えています。

もう一方の財政健全化計画については、第三セクター等改革推進債の活用により、市の最大の懸案事項の一つであった土地開発公社分の債務処理に一定の目途が立ったものの、未だ景気に明るい兆しが見られず、厳しい財政運営が予想されることから、「歳入の確保」や「総人件費の抑制」等の健全化策を引き続き実施します。

また、平成25年度は実施計画の最終年度となるため、計画の完全実施に向けて進行管理の強化を図るとともに、あらゆる観点から聖域なき行財政改革に取り組みます。